

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 rows: 事業所番号 (0171401300), 法人名 (ハマダコーポレーション), 事業所名 (グループホームおもひで), 所在地 (函館市東山3丁目2-4), 自己評価作成日 (令和元年11月5日), 評価結果市町村受理日 (令和2年1月7日)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

民家改修型のホームで、昔ながらの家庭的な雰囲気があり、庭には燈籠や庭石があり、四季により様々な景色を楽しむことが出来る。庭に出来る路は、入居者の皆様の毎年の楽しみとなっている。町内会に所属し、地域の行事に参加させていただき、地域の方には理解と協力が得られ、日頃から大変よく行っている。隣には学童保育があり、子供達との触れ合いに入居者様は喜ばれている。今年度は、個別ケアの提供に力を入れ、買い物や教会、お寺、自宅へ帰られたり、孫の運動会や趣味の場等へ行き楽しんでもらっている。職員は、介護計画の実施状況を毎日の業務日誌、個人記録に記入し、目標達成に取り組んでおり、入居者様に安心して毎日を過ごして頂けるよう、毎日の係わりを大事に一緒に過ごさせてもらっている。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 1 row: 基本情報リンク先URL (http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kari=true&JigvosvoCd=0171401300-00&ServiceCd=320&Type=search)

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 rows: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401), 訪問調査日 (令和元年12月17日)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 1) ホームの環境・介護設備の機能性; ホームは東山の市立墓苑に近い閑静な住宅街にあり、見事な石庭の民家を改造した1ユニットのホーム、家庭的な雰囲気介護設備機能もよく整えている。
2) 職員の態度・姿勢; 職員は相互に理念等を共有して、チームワークよく利用者・家族の思いを受け止め、利用者本位の介護に真摯に専念している。
3) 家族等の好感度; 家族は定例の個別的な日常生活等の連絡を受け、また訪問時の職員の気軽の対応や要望・意見を丁寧に聞いてくれることに好感を示している。
4) 運営推進会議開催状況; 会議は定例に開催して、地域組織関係者、家族、地域の包括支援センター等の参加・協力の下に、参加者の意向を反映した運営に努めている。
5) 地域組織・機関との連携; 函館では歴史ある地域で、その住民組織もあり、協力関係を密にして、ホームの存在の理解に努め、地域の協力関係強化に努めている。

Table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 detailing service outcomes and staff performance.

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を居間、事務所など目に入る所に掲示し、理念を共有し、生活に寄り添い実践に繋げている。	「利用者の人格の尊重、個々の人らしさを支え、ホームの家庭的雰囲気を大切し、穏やかで楽しい日々を送れる介護」を理念に、職員は理念を共有し、利用者に寄り添った介護に専念している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	町内会に所属し、行事に参加させて頂いたり、七夕や隣の学童へ回覧板を入居者様と一緒に回したり交流をはかっている。	町内会や近隣の児童保育等と連携・交流を深め、夏祭り、七夕などの行事を利用者と共に交流を楽しめるような生活関係に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方との交流時、認知症について聞かれたり、認知症のご家族をお持ちの方に相談されたりし、情報を提供したりしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に一度開催し、参加者の方からアドバイス、ご意見等頂き、職員で共有しサービスの向上に活かしている。	会議は定例に開催し、町内会、包括支援センター、家族等の参加を得て、ホームの実情を説明して、参加者の意見や意向を運営に反映するよう努めている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市や包括支援センターへ、運営推進会議の議事録や提出書類を直接お持ちし、相談にのって頂いたりし、よい関係を築けるよう努めている。	ホームの定例業務報告や運営推進会議議事録等の提出と共に、行政窓口担当者との情報交換に努め、行政の意向や方針を確認して、利用者の最適な介護支援となるよう努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に身体拘束検討委員会を開き、研修へ参加し理解を深めている。職員で十分に話し合い、ケアの仕方を工夫することで身体拘束をしないケアに職員で協力しあい取り組んでいる。	身体拘束委員会は定例に開催して、課題の共有や職員相互の周知を図り、介護資質の確認と共に虐待や人権を損なうことのない体制づくりに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修や勉強会に参加し意識を高め、入居者様への職員の対応の仕方を会議などで話し合い、入居者様の細かな表情や精神的な変化に注意を払い、職員で共有し防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	以前、成年後見制度を利用された入居者様があり、今後も必要な時はいつでも利用できるよう研修等で理解を高めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時はサービス内容等説明し、不安や疑問点を確認し、理解を得られるよう努めている。改定時は、文書で説明し理解を得られている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様とは、信頼関係の構築に努め、来訪時や電話時に些細な事でも相談して頂けるよう雰囲気作りに配慮し、年に一度無記名でのアンケートを実施し、運営に反映させている。	家族の訪問頻度は高く、主に訪問時に家族の意見や意向を傾聴するとともに、日常生活の状況をおたより等で報告し信頼関係を深め、家族等の意向を運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	どんな意見でも言えるような雰囲気作りに努め、職員は、会議や日頃から自由に意見を述べ、管理者が代表へ伝え、職員間でも話し合い運営に反映させている。	毎月の職員会議で業務上の見解やアイデアを相互に協議し、理解を共にするとともに、課題は経営者に伝えて改善を図り、利用者個々への介護支援に活かしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、職員の状況を把握し希望を取り入れるよう努力し、産休、育休の取得、職員を増員したりと働く環境のより良い整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員へは研修案内の呼びかけをし、負担にならないよう勤務時間内に参加できるよう配慮し、段階に応じた研修会に参加してもらっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者の勉強会や親睦会など交流する機会を設け、サービスの向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の来訪や面談時、困っていること、不安なことや要望をお聞きし、不安が解消されるよう努め、お気持ちを大事にし安心して入居して頂けるよう関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の面談時に同席してもらい、困っていること、不安なことや要望をお聞きし、不安が解消されるよう努め、ご家族様の思いを大事に関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族様と十分に話し合い、利用していたサービス機関からからも情報収集し、必要としている支援を見極め検討し、最適なサービスが利用できるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来ること、やりたいことを一緒にして頂いたり、談笑や係わりの時間を大事に、共に楽しく生活し関係づくりに努めている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族来訪時など、日常の様子をお伝えし、ご家族様からお話をお聞きし家族関係を大事に、受診の同行や行事に参加して頂いたり共に支えていく関係を築けるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親戚や友人、知人の方にも来訪して頂いたり、入居前より通われていた中国針へ通われたり、職員と自宅やお寺、教会などへ行き、馴染みの人や場所を大切に支援している。	家族の訪問頻度は年間を通して高く、利用者の馴染みあるところ等への外出や交わりなどを広め、利用者への大きな支えや生活への変化の機会作りに努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の関係性を把握し、職員が間に入り孤立しないよう関係づくりに努め、一緒に家事をされたりし共に支えあえる生活が送れるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された入居者様のご家族様が来訪しカレンダーやお守りを持って下さったり、入院した方へ面会に行かせてもらったりと関係を継続している。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃の係わりの中で、表情や動作から思いをくみ取り把握に努め、ご家族の意見も参考に、思いや希望に添えるよう本人本位に検討している。	入所以来のアセスメント記録や職員相互の日常観察等の結果を共有するとともに、カンファレンス会議等で思いや意向の把握に努めて支援している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様、サービス機関から情報収集し、入居前の生活習慣を大切に、生活に大きな変化なく暮らせるよう努めている。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日頃より言動など観察し、職員で話し合い情報を共有し現状の把握に努めている。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人に係る方から意見をお聞きし、都度職員で話し合い現状に即した介護計画を作成している。業務日誌には実施状況を記録し、目標達成を意識して取り組んでいる。	計画作成にあたっては、各職位の記録や観察を基に職員相互の協議を進めて、家族や本人の意向等を纏め、次の介護目標となるように努めて作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録に日常の様子、介護計画に係ること、気づきなど記入し、職員は送りや記録で情報を共有し実践や介護計画の見直しに活かしている。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様が困難な場合、買い物や受診、外出など事業所が変わって対応し、柔軟なサービスが提供できるよう努めている。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事では、町会の方が協力して下さり、盆踊りや餅づくりなど有する能力を発揮し安全に楽しんでもらっている。			
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様の希望するかかりつけ医への受診支援の他、医療連携している主治医による往診があり、また24時間体制で緊急時や夜間も診てもらっており、安心して適切な医療が受けられるよう支援している。	利用者のかかりつけ医への受診を支援するとともに、医療連携機関の往診等を受け、24時間体制での支援体制によって、利用者の健康の安全・安心の確保に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携している看護師が隔週で訪問し、入居者様の健康チェックをして下さり、状態や体調を報告、相談しアドバイスをもらったり指示してもらっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際は、職員も付き添い、病院関係者へ情報提供し、今後について相談している。面会時は出来ることをさせて頂き、入院経過の状態も把握し、早期退院できるよう関係者と情報交換しカンファレンスにも参加している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化、見取りに関する指針を説明し同意を得ている。ホームで出来ることを説明し理解してもらい、状態の変化に応じて主治医、ご家族様と都度十分に話し合い、主治医と連携をとりながら終末期支援に取り組んでいる。	重度化や終末期の対応は、入所契約時に対応指針を明示して理解を得るとともに、状況の変化に応じて家族・医療機関等と緊密な協議の下に最適化を図って、終末期支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時に適切に対応できるように努め、AEDを設置している。定期的な訓練は行われていないが、事故、緊急時対応マニュアルがあり、今後、消防主催の救命講習を順次受講予定。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防立ち合いでの訓練を年2回、昼夜を想定し行い対応方法を身につけている。災害時には、町会の方が救助に来てもらえる体制も整い、道南GH協会Bブロックでも災害時に協力しあえる体制が出来ている。	防災訓練は消防署の協力を得て、その都度想定した訓練を実施している。また、地域との協力関係も重視し、かつホーム間の協議会等の協力体制を整えている。災害用備蓄にも留意している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄の誘導は他者に分からないようそっと声掛けし、報告は暗号を用いて職員に伝え、プライバシーを損ねない対応に心がけている。	理念に基づき利用者本位の支援に留意して、人権や個別性を損なうことのないよう、職員会議等での確認に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	毎日ティータイム時に飲み物の希望を聞いたり朝や入浴時に洋服を選んでもらったり、希望や意思を大事に、自己決定できるよう働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居前からの習慣を大切にし、TVを見たり散歩したり入居者様のペースで過ごしてもらい、買い物に行くなど希望に添えるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お好きな服を選んできてもらったり、パーマやカラー、行事の時はお化粧をしたりとおしゃれを楽しんでもらえるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	買い物と一緒にいき、好きな食材を選んでもらったり、外食や旬の食材を使って季節を味わってもらい楽しんでいただけるよう工夫している。調理や配膳、片付けなど出来ることを一緒にしてもらっている。	食材の買い物をともにしたり、庭に自生するふきや旬の季節感を大事にするなど、食事が最も楽しいひと時となる様、皆で手伝い、地味豊かな食事を楽しめるよう支援に努めている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分量は記録に残し、偏りや脱水に注意している。バランスの悪い時は、食べられる物を食べてもらったり、食材により刻みにするなどし支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの重要性を理解し、毎食後口腔ケアを行い、口内の状態も観察している。歯間、舌ブラシなど口腔ケア用品を使いケアし、ご本人の力に応じて介助させてもらっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	オムツ類をなるべく使わず、個々の排泄パターンに合わせて誘導したり、トイレサインを見逃さず誘導し、トイレで排泄できるよう支援している。立位保持が困難な方にも職員二人で介助しトイレで排泄してもらっている。	排泄の自立支援を基本として、オムツを使わず、排泄パターンの確認や誘導などに留意したトイレ排泄支援に努めて、家族の理解を得ている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘が日常生活に及ぼす影響を理解し、起床時の乳製品や、体操や散歩で体を動かし、その人に合った働きかけをし便秘の予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴時間が午後と限られているが、毎日お湯を沸かし、好きなCDを聞きながら心地よく入浴してもらっている。足浴や汚染時は随時シャワー浴を行うなど個々にそった支援を行っている。	入浴時間は午後として、入浴が楽しいひと時となるよう努めている。また、利用者個々の状態や状況に合わせた足浴やシャワーで、さっぱりした入浴感を味わってもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、臥床されたりソファで休まれており、体調を見て声を掛け休んでもらっている。季節により扇風機や加湿器を使用し体調を崩さないよう配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情報をすぐ見られる場所におき、一人ひとりの内服薬がすぐ確認出来るようになっている。変更があった時も、記録と送りで共有し、副作用など症状を観察している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	料理や家事など得意なことを発揮してもらい役割を持ってもらっている。歌謡曲やDVD、レク、パンが好きな方は毎朝食べられ、晩酌するなど楽しんでもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	教会や孫の運動会、外食や競馬場など普段は行けないような場所へも、希望にそえるようご家族様にも協力してもらい、出掛けられるよう支援している。四季のドライブや散歩、買い物など戸外に出掛け楽しんでもらえるよう支援している。	ホームの周りの穏やかな住宅街や自然豊かな公園(墓苑)などの環境にあり、家族の協力を得て、教会や運動会、買い物、外食等の楽しみ多い外出の機会を設けている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	高額は金庫で預らせてもらっているが、寂しい思いをしないよう、お財布や少額を持ってもらい、買い物や外食時などご自分で支払いをもらっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自らご家族へ電話をかけられたり、ご自分ではかけられない方は職員が変わって電話をし、お話ししてもらっている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	民家改修型のホームで昔ながらの家の雰囲気的大事に、入居者様の撮影した写真を展示したり、四季に応じた飾り付けをし、季節を感じて頂けるよう心掛けています。大きな窓からは中庭を眺められ、日当たりも良く、エアコン、加湿器を使用し居心地よく過ごせるよう配慮している。	見事な石庭のある民家を改良したホームは、その雰囲気を感じさせ、また利便性良く配置された介護設備機能も良く、温度・湿度・陽射しの管理と共に、季節や定例行事に合わせた居間の飾り付けなどで、その変化を利用者が楽しめるよう工夫を凝らしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファーや食卓で、気の合う方でお話されたり、廊下やベンチからお一人でのんびりと庭を眺められたり、思い思いに過ごせるよう工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前に使用されていた家具や手作りの鏡など使ってもらい、思い出の品や写真、作品を飾られ、ご家族にも協力してもらいご本人が居心地よく過ごせるよう工夫している。	個々の居室は家族の協力を得て、個々の利用者の馴染み深い家具や備品を備え、また自分の作品や家族の思い出の写真などを飾って、それぞれの居心地良い居室づくりの支援をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	部屋やトイレに表札をし、立ち上がりや歩行が安全に出来るよう、廊下、トイレ、浴室等に手すりが設置されている。随所に椅子を用意し、疲れた時に休んでもらっている。		